



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月3日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 松風
コード番号 7979 URL <http://www.shofu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 取締役社長 (氏名) 根来 紀行

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 藤島 亘

TEL 075-561-1112

四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	11,469	△3.6	649	△11.3	569	△13.7	333	△11.4
22年3月期第3四半期	11,900	△3.2	732	△28.5	659	△35.9	377	△42.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	20.78	—
22年3月期第3四半期	24.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	21,984	18,018	18,018	82.0	82.0	1,121.02
22年3月期	22,522	18,310	18,310	81.3	81.3	1,139.13

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 18,018百万円 22年3月期 18,310百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	8.00	—	10.00	18.00
23年3月期	—	8.00	—		
23年3月期 (予想)				10.00	18.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,955	5.7	1,087	2.9	966	1.7	596	14.5	37.13

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 _____）、除外 一社（社名 _____）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期3Q	16,114,089株	22年3月期	16,114,089株
② 期末自己株式数	23年3月期3Q	40,434株	22年3月期	40,387株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期3Q	16,073,695株	22年3月期3Q	15,534,097株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3 ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成22年4月1日から平成22年12月31日まで)におけるわが国経済は、輸出の増加や政府の景気対策により緩やかな回復傾向で推移しました。しかしながら、雇用情勢は依然として厳しく、長期化する円高や慢性的なデフレの影響などにより、引き続き先行き不透明な状況が続いております。

このような厳しい経営環境の中、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は11,469百万円と前年同期比430百万円(3.6%減)の減収となりました。売上高に含まれる海外売上高は2,538百万円(対売上高22.1%)となり、前年同期比189百万円(7.0%減)の減収となりました。なお、為替変動による海外売上高全体への影響額は296百万円の減少であります。

利益面は販売一般管理費が前年同期比で減少したものの、減収による影響が大きく、営業利益は649百万円(前年同期比82百万円、11.3%減)となり、さらに為替差損の発生等営業外損益が悪化したことから、経常利益も569百万円(前年同期比90百万円、13.7%減)と、いずれも前年同期比減益となりました。特別損益に貸倒引当金戻入額や投資有価証券評価損を計上した結果、税金費用を差し引いた四半期純利益は333百万円(前年同期比43百万円、11.4%減)となりました。

(デンタル関連事業)

国内では、前連結会計年度に発売を開始した前臼歯対応フッ素徐放性フロアブルコンポジットレジジン「ビューティフィル フロー プラス」や当第3四半期連結累計期間に市場投入した双眼ルーペ「MiCDルーペ」等が売上に寄与いたしました。市場環境は依然として厳しい状況が続く、前年同期比減収となりました。海外はアメリカ・欧州を中心に外貨ベースでは引き続き回復傾向にありますが、円高による為替換算の影響により、前年同期比減収となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は10,301百万円(前年同期比286百万円、2.7%減)となり、営業利益は699百万円(前年同期比27百万円、3.7%減)となりました。

(ネイル関連事業)

ネイル関連事業は、長引く個人消費の低迷により、ネイル業界全体の市場の伸びが鈍る中、価格競争の激化等引き続き厳しい環境で推移いたしました。その中でネット販売システムの拡充や自社グループ製品を中心とした積極的な販売活動に注力いたしました。当第3四半期連結累計期間の売上高は1,106百万円(前年同期比161百万円、12.7%減)となり、利益面は減収により、営業損失66百万円(前年同期比64百万円減)となりました。

(その他の事業)

その他の事業は、株式会社昭研が歯科用研磨材の生産技術を応用し、工業用研磨材を製造販売している事業分野であります。

当第3四半期連結累計期間の売上高は産業材等の需要拡大により、65百万円(前年同期比18百万円、39.9%増)となり、営業利益は16百万円(前年同期比8百万円、107.7%増)となりました。

参考：在外子会社財務諸表項目の邦貨への換算レート(期末日レート、人民元は9月末レート)

米ドル	1ドル	= 81.49円(前年同期 92.10円)
ユーロ	1ユーロ	=107.90円(前年同期 132.00円)
英ポンド	1ポンド	=126.48円(前年同期 146.53円)
中国人民幣	1元	= 12.52円(前年同期 13.10円)

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

総資産は、前連結会計年度末に比べ、537百万円(2.4%減)減少し21,984百万円となりました。

資産は主に、受取手形及び売掛金が減少しています。

負債は、前連結会計年度末に比べ、246百万円(5.9%減)減少し3,966百万円となりました。未払金や未払費用などその他の流動負債が減少しています。

純資産は、前連結会計年度末に比べ、291百万円(1.6%減)減少し18,018百万円となりました。為替換算調整勘定の減少が主な要因であります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ、0.7ポイント上昇し82.0%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べ、198百万円(3.7%減)減少し、5,097百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と前年同期対比の要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、774百万円のプラスとなり、前年同期対比166百万円(27.4%増)の増加となりました。これは主にたな卸資産の増減額による資金収入が前年同期に比べ、127百万円(37.1%増)増加したことや、法人税等の支払額が前年同期に比べ、292百万円(53.2%減)減少したことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、581百万円のマイナスとなり、前年同期対比250百万円(30.1%増)の増加となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が前年同期に比べ、184百万円(40.1%減)減少したことによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、300百万円のマイナスとなり、前年同期対比1,334百万円(129.1%減)の減少となりました。これは主に自己株式の増減額による資金収入が前年同期に比べ、1,313百万円(100.0%減)減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の業績予想につきましては、平成22年5月14日決算発表時の期初の業績予想を変更しておりません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度にかかる実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。また、一部の連結子会社については、予算に基づく年間償却予定額を期間按分して算定しております。

③ 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合については、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

④ 税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

表示方法の変更

(四半期連結損益計算書関係)

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等」の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,381	6,430
受取手形及び売掛金	2,104	2,444
有価証券	145	165
商品及び製品	2,283	2,179
仕掛品	605	573
原材料及び貯蔵品	552	551
その他	736	806
貸倒引当金	△135	△162
流動資産合計	12,673	12,989
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,397	6,590
減価償却累計額	△3,826	△3,887
建物及び構築物(純額)	2,570	2,702
その他	6,277	6,304
減価償却累計額	△4,077	△4,129
その他(純額)	2,199	2,174
有形固定資産合計	4,770	4,877
無形固定資産		
のれん	467	534
その他	248	277
無形固定資産合計	716	812
投資その他の資産		
投資有価証券	3,043	3,144
その他	789	708
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	3,824	3,844
固定資産合計	9,311	9,533
資産合計	21,984	22,522

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	556	666
短期借入金	1,020	1,020
未払法人税等	64	92
役員賞与引当金	34	33
その他	1,089	1,239
流動負債合計	2,765	3,051
固定負債		
退職給付引当金	106	101
役員退職慰労引当金	548	509
その他	544	550
固定負債合計	1,200	1,161
負債合計	3,966	4,212
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,474	4,474
資本剰余金	4,576	4,576
利益剰余金	9,431	9,387
自己株式	△55	△55
株主資本合計	18,427	18,382
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	259	357
為替換算調整勘定	△667	△430
評価・換算差額等合計	△408	△72
純資産合計	18,018	18,310
負債純資産合計	21,984	22,522

(2) 四半期連結損益計算書
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	11,900	11,469
売上原価	5,314	5,084
売上総利益	6,586	6,384
販売費及び一般管理費	5,854	5,735
営業利益	732	649
営業外収益		
受取利息	21	13
受取配当金	44	46
会費収入	78	78
その他	45	55
営業外収益合計	189	194
営業外費用		
支払利息	11	10
売上割引	114	112
当社主催会費用	87	74
その他	48	77
営業外費用合計	262	274
経常利益	659	569
特別利益		
貸倒引当金戻入額	29	28
投資有価証券売却益	19	—
特別利益合計	49	28
特別損失		
投資有価証券評価損	53	12
特別損失合計	53	12
税金等調整前四半期純利益	656	585
法人税等	279	251
少数株主損益調整前四半期純利益	—	333
四半期純利益	377	333

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	656	585
減価償却費	463	446
のれん償却額	66	66
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△32	△26
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	35	△10
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	40	39
受取利息及び受取配当金	△66	△60
支払利息	11	10
為替差損益 (△は益)	6	30
投資有価証券評価損益 (△は益)	53	12
投資有価証券売却損益 (△は益)	△19	—
売上債権の増減額 (△は増加)	351	285
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△342	△215
仕入債務の増減額 (△は減少)	81	△62
その他	△202	△118
小計	1,103	982
利息及び配当金の受取額	67	61
利息の支払額	△14	△13
法人税等の支払額	△548	△256
営業活動によるキャッシュ・フロー	607	774
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△910	△1,178
定期預金の払戻による収入	758	1,009
有価証券の取得による支出	△2	△129
有価証券の償還による収入	—	128
有形固定資産の取得による支出	△460	△276
無形固定資産の取得による支出	△25	△31
投資有価証券の取得による支出	△198	△102
投資有価証券の売却による収入	24	—
貸付けによる支出	△5	△1
貸付金の回収による収入	6	10
その他	△19	△10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△832	△581
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△8	△11
自己株式の増減額 (△は増加)	1,313	△0
配当金の支払額	△271	△289
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,033	△300
現金及び現金同等物に係る換算差額	△12	△89
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	795	△198
現金及び現金同等物の期首残高	3,788	5,295
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	1	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,586	5,097

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

① 事業の種類別セグメント情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	デンタル 関連事業 (百万円)	ネイル 関連事業 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売 上 高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	10,588	1,267	44	11,900	—	11,900
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	2	2	(2)	—
計	10,588	1,267	46	11,902	(2)	11,900
営業利益又は営業損失(△)	726	△2	7	732	(0)	732

(注) 1 事業区分の方法

事業は、製品の種類、用途及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2 各区分に属する事業の内容

(1) デンタル関連事業……歯科に関連する材料、機器の製造・販売及び修理サービス

(2) ネイル関連事業……ネイルに関連する美容器具・健康器具及び化粧品等の製造・販売、サービス業

(3) その他の事業……工業用材料・機器の製造販売、上記(1)、(2)以外の事業

② 所在地別セグメント情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	日本 (百万円)	アメリカ (百万円)	欧州 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売 上 高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	9,790	779	1,009	320	11,900	—	11,900
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	969	33	99	171	1,274	(1,274)	—
計	10,759	813	1,109	492	13,175	(1,274)	11,900
営業利益	589	30	66	44	730	1	732

(注) 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

国又は地域の区分は、地理的近接度により、「アメリカ」、「欧州」、「アジア」に区分しております。

「欧州」にはドイツ及びイギリス、「アジア」には中国が含まれております。

③ 海外売上高

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	北米・中南米	欧州	アジア・ オセアニア他	計
I 海外売上高(百万円)	789	1,011	926	2,727
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	11,900
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	6.6	8.5	7.8	22.9

(注) 1 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

2 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

3 各区分に属する主な国又は地域は以下のとおりであります。

北米・中南米……アメリカ・カナダ・ブラジル、欧州……ドイツ・イギリス、アジア・オセアニア他……韓国・中国であります。

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループの事業は、デンタル関連事業、ネイル関連事業及びその他の事業（工業用材料・機器の製造販売）から構成されており、各事業単位で、日本及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、「デンタル関連事業」、「ネイル関連事業」、「その他の事業」を報告セグメントとしております。

「デンタル関連事業」は、歯科に関連する材料、機器の製造・販売及び修理サービスを、「ネイル関連事業」は、ネイルに関連する美容器具・健康器具及び化粧品の製造・販売、サービス業を、「その他の事業」は、工業用材料・機器の製造販売を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

	報告セグメント				調整額 (百万円) (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注) 2
	デンタル 関連事業 (百万円)	ネイル 関連事業 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	10,301	1,106	62	11,469	—	11,469
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	0	3	3	△3	—
計	10,301	1,106	65	11,473	△3	11,469
セグメント利益又は損失(△)	699	△66	16	649	0	649

(注) 1 セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。